

おに図書館

No.170

発行 青木和子

代表 青木和子

TEL. 047-311-0886

松本市の原 104-416

松戸市図書館整備計画

審議会(以下「審議会」)開催

報告 青木和子

6月6日(金) 教育委員会会議室

(「京葉ガスビル5階」で 第一回「審議会」が開催されました！)

「広報まつど」6月/月号に案内が載り、定員の名とこのことで定員オーバーを心配しましたが、掲載が真際だった所為もあってか、傍聴者はひったく5名でした。

いよいよ松戸市の図書館政策が動き出す記念すべき日だと思おうと傍聴する側も緊張しました。

●「審議会」委員は次の通り(敬称略)

○学識経験を有する者

(委員長) 常世田良 立命館大学教授

(副委員長) 大串夏身 昭和女子大学教授

柳澤潤 東京工業大学准教授

○社会教育関係者

森めぐみ 松戸市社会教育委員

澤谷茶緒美 松戸市立松ヶ丘小学校長

○本市の職員

青柳洋一 生涯学習部長

●検討項目: 配布資料(傍聴後送却)より図書館の在り方・役割及び機能に関すること

・今後の図書館サービスの基
本方針について

2 図書館施設の規模、構成及び設備に関すること

○中央館及び分館の最適規模

や構成、必要な設備について

3. 図書館の配置に関すること

・利用実態や地域の特性に応じた配置計画について

4. 図書館の管理及び運営に関すること

・サービスの向上と効率化を図る管理運営について

・専門職員育成について

5. その他

先ず、常世田委員長、大串副委員長、伊藤教育長から、それぞれ図書館観が語られました。

「一時代前の価値観に囚われている問題とそれに対する方法としての情報の大切さ。その一方で便利になった為にかえってインターネット上位のみの狭い情報になっている」という問題。学校図書館は学校を中心であるべき。10年・20年先を見据えた図書館の在り方を考えたい。」など。

次にH26年度図書館整備計画策定スケジュールが示されました。

○提言書策定までにすべきこと…シンポジウム・パネルディスカッション、市の計画書作成、議会への説明、パブリックコメント、教育委員会への報告

○スケジュール…「審議会」開催は、H26年6月、8月、10月、11月、H27年1月、3月の6回。

7月は、本館・分館などの視察。審議内容…第1〜2回は現状・課題の整理、第3〜4回は提言書たたき台の作成、図書館との共同事業として講演会開催、第5回はパブリックコメントなどで市民の意見を反映させる、第6回は最終提言書策定。

図書館長から、松本市立図書館についてのデータの報告…人工知能50万人以上(全国26市)の市立

図書館との比較では、蔵書冊数、専門職員(司書)数、延べ床面積など殆ど全てにおいて松戸は下位であること、市民へのアンケート結果は施設・設備・資料を増やして欲しいとの要望が最多だったことなど。

各委員からは、様々な質問・提案が次々に発せられました。

青柳生涯学習部長…委員が現状を知って失望したのではないかと心配した。現実を知った上であるべき姿を考えてほしい。

委員からの提案…新図書館建設の前に、お金をかけなくても取り敢えず出来ることがあるはずだから、幾つか提案したい。市民の意見を反映させたいので提言書策定の前後にシンポジウムを開いて市民の声を聞きたい。松本市は広いし、地域性がある。

ので、各分館を回るなど各地域での説明会を開く必要がある。それは図書館に対する啓発にもなるので、事務局と相談して進めたい。今は来年度予算にとりかかる時期なので、空き教室を利用するなど、書庫用倉庫を借りる予算を要求したい。

事務局…12月のパブリックコメントで市民の声を聞きたい。

審議が一段落したところで「今の図書館とは」のテーマで委員が準備した映像を、全員で見ました。

柳澤委員(建築家)より…金沢市・海みらい図書館、新潟県・十日町情報館、町田市・鶴川ふじのり交流館、長野県・塩尻市交流センター、常世田委員より…サブランススコ・シアトルの図書館

委員の方々の図書館にかける情

熱と迫力をひしひしと感じさせる
熱気にあふれた「審議会」で、こ
れが現実のことなのかと頬をつね
うたい思っていました。
今後に大いに期待しております。
傍聴することが、とても楽しみ
になりました。



第十七回

千葉県内図書館関係

市民団体連絡会

報告 青木和子

7月6日(日)、浦安市立図書館高
洲分館で開催され、5団体(浦安・
君津・佐倉・千葉・松戸)15名が
参加しました。担当は「浦安図書
館友の会」。

高洲分館は、地域交流館「エス
レ高洲」内に8番目に開館(2010年)
した、市内で最も新しい図書館です。
「エスレ高洲」は、図書館の他

に公民館、児童センター、社会
福祉協議会、移動防犯ステーション
との複合施設です。

入口を入ると吹き抜けのオー
プンスペースになっていて、家
族づれや中高生など年令を問わ
ず大勢が来館しておしゃべりし
たり勉強したり、楽しげに過ご
していました。学習室として仕
切られた部屋もありました。

入口を入って右側には軽食喫
茶室、左側には児童センター、
その隣がガラス張りの図書館で、
明かるい内部が外からも見渡せ
ます。図書館は月曜休館なので、
新聞はオープンスペースで読め
るように図書館の外側に置くとい
う細やかな心づかいがされて
いました。とても居心地の良い
この空間にすっかり魅せられて
しまい、できることなら松戸の
子どもたちにも体験させてあげ
たいと切実に思いました。

オープンスペースの奥の階段を
上がると、2階は公民館で、4つの
会議室、大集会室、保育室、調理
実習室、音楽室、工芸工作室、陶
芸室、運動室、和室、研修室、多
目的室などがああります。

3階部分には屋上庭園になって
いるようです。(羨ましい！)
社会福祉協議会、移動防犯ステ
ーションは、1階奥のめだたない
場所にあります。過日、松戸市の
図書館分館見学で地域の市民セン
ターを回った際、建物の入口を入
ると先ず社会福祉協議会の事務所
があったことを思い出し、その違
いは何?と思いました。

連絡会の会場は2階会議室でした
会の前半は、分館責任者の島本
さんの説明をお聞きした後、館内
を案内して頂きました。
高洲分館は、延べ床面積77㎡、
蔵書数約7万冊。正規職員1名、

専門非常勤職員(司書)一名、一般非常勤職員延べ10名で運営しています。

中央館と分館のつながりは密で、研修や送書にも全館から職員が参加するそうです。中央館を知るために、土・日は専門非常勤職員が中央館で勤務するなど、職場の移動・交替も柔軟に行っているとのこと。地域の学校との連携については、おはなし会などもボランティア任せにはせず、学校司書と連携しつつ職員が出向いています。

後半は、各団体からの活動報告と情報交換。

千葉市では、H.28年度に高洲分館と同程度の規模の花見川分館が開館予定だそうです。どのような図書館が出来上がるのか、完成が楽しみです。

次回は、2015年1月25日(日)に千葉市で開催の予定です。

「連絡会」の会場として、浦安市立中央図書館はこれまで何回もお世話になりましたが、今回は「浦安の分館を見てみたい」とのメンバーの願いを叶えて下さり、訪れることが出来ました。このような素敵な施設に出会えたことを幸せに思います。



7月27日(日)~29日(火)

鳥取県の図書館見学

報告 青木和子

「第20回鳥取県図書館大会」(於：倉吉市)に合わせて「千葉市図書館・公民館フォーラム」が企画した、鳥取県内図書館視察旅行に同行させて頂きました。27日は鳥取県立図書館へ。

聞きに優る素晴らしい職員の方々の図書館にかける情熱に圧

倒される思いでした。青藤明彦、小林隆志両氏のお話を伺った後、館内を案内して頂きましたが、とにかく感嘆のため息の連続でした。28日は倉吉市で、ブックテイラクター幅允孝氏の講演会「人と本が出会う仕掛けづくり」の後、倉吉市立図書館を見学しました。

29日は、大山町立図書館と米子市立図書館を見学し、「本の学校」で有名な今井書店に立ち寄り、盛り沢山な視察旅行は終了しました。あまりにも内容が豊富で、誠に残念ながら私の能力では消化しきれない感があります。今後この経験がふつと頭をもたげて示唆を与えてくれる場面が、きっと有ることと思います。

得難い機会に声を掛けて下さった千葉市の皆様のご好意に、心から感謝申し上げます。

